

令和 2 年度
飛驒市一般会計補正予算（専決第 3 号）の概要



10月補正予算（一般会計専決第3号）のポイント

国による緊急事態宣言の解除後、GO TO トラベル等で徐々に人の流れが戻りつつある中、飛騨市においても感染対策に留意しながら経済活動を本格化していく必要があります。市では新型コロナウイルス対策本部会議をこれまでに78回開催する中で、市内を業種別に定点観測し状況を丁寧に把握したうえで本当に困っている方へピンポイントに効果的な対策を講じるため、これまでに8回の補正予算を編成してきました。

今回の補正予算は、症状の識別が難しいインフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が懸念される中、医療機関の体制強化支援をはじめ、プレミアム付食事券第2弾や宿泊応援事業第3弾のほか、飛騨市独自のGO to Ski キャンペーンなど年度末までを見据えた施策を総額1億5百万円追加しますが、新型コロナウイルス感染症対策の財源とする予備費で調整するため、内容変更（組み替え）となり、補正後の予算額は、228億1百万円と変更ありません。

■衛生費

＜保健衛生総務費＞

インフルエンザ流行期を控え、発熱患者等の診療や検査を安全に行う医療機関の体制づくりを支援し、安定した医療提供体制を確保するため、院内における動線分けや専用の診療室を整備する市内医療機関に対する補助金6百万円を計上しました。

■商工費

＜商工振興費＞

年末年始の商戦期に向けた誘客促進を図る事業者を支援するとともに、事業継続に向けた設備投資を図る市内中小製造業者を支援するため、商工業活性化包括事業補助金に1千5百万円を計上しました。このほか、深刻な影響が続く飲食業を支援することともに、タクシーにも使用できる新たなプレミアム付き食事券発行の所要額4千3百万円を計上しました。

＜観光費＞

未だ回復が見込めない宿泊事業者を支援するため、近県所在地の方や市民に加え、修学旅行等で市内に宿泊される場合に定額を支援する補助金2千万円を計上しました。このほか、スキー場及び周辺宿泊施設の更なる利用促進を図るため、市内小中学生に対するリフト券の無料化及び市内宿泊者に対するリフト券の割引措置を講ずることとして、所要額2千万円を計上しました。

■教育費

＜文化施設費＞

3密を回避しながら文化活動をするためには従来よりも大きな場所を使用することが必要となるため、施設使用料にかかる従前額との差額を支援する経費1百万円を計上しました。

■予備費

＜予備費＞

今後の新型コロナウイルス感染症対策の財源としていた予備費を減じることで財源調整を図りました。残額については、今後の突発案件への対応や除雪経費等で活用する見込みです。

予 算 総 括 表

(単位:千円)

会計	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	増減率 (%)	財源内訳			
					国県支出金	地方債	その他	一般財源
01 一般会計	22,800,980	0	22,800,980	0.00	0	0	0	0
特別会計合計	8,633,889	0	8,633,889		0	0	0	0
合 計	31,434,869	0	31,434,869		0	0	0	0

予 算 総 括 表

会計 一般会計

歳出

(単位:千円)

款	補正前予算額	(%) 構成比	補正予算額	補正後予算額	(%) 増減率	財源内訳			
						国県支出金	地方債	その他	一般財源
04 衛生費	1,565,854	6.87	6,000	1,571,854	0.38				6,000
07 商工費	1,815,326	7.96	98,000	1,913,326	5.40				98,000
10 教育費	1,567,912	6.88	△800	1,567,112	△0.05				△800
13 予備費	292,029	1.28	△103,200	188,829	△35.34				△103,200
合 計	22,800,980		0	22,800,980		0	0	0	0